※令和４年度以降入学生用

学校番号	1005

令和５年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「書Ⅰ」　（光村図書出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・小学校、中学校の書写の授業で学んだことを発展させて、芸術科書道では文字の表情の違いによる表現の違い等を学びましょう。
・漢字の書から、漢字仮名交じりの書、仮名の書、篆刻（印）等、様々な体験し、自分らしい文字を書くことが出来るようになることをめざします。
・身近に飾れる作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。

２　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広くかかわる資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
（１）書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身につけるようにする。
（２）書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。
（３）主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解している。 ・書写能力を向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身につけ、表している。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	書写と書道	・国語科書写(読みやすい)と芸術科書道(表現)の違いを理解し、創作の難しさ面白さを体験する ・文字の表情と、技術との関係を理解する	a:書体の変遷について理解している。（知） a:用具・用材を適切に扱っている。（技） b:書写の定義を踏まえ、書道作品として、意図に基づいて構想し、用筆、運筆、字形などを工夫している。 c:書体の変遷、書写と書道の類似点、相違点に興味を持ち、意欲的に取り組もうとしている。	ワークシート 提出作品	ポートフォリオ 提出作品	観察 振り返りシート
	漢字の書（楷書）	・背向、直側、露蔵、方円の技術を理解して書く 虞世南　孔子廟堂碑 歐陽詢　九成宮醴泉銘 褚遂良　雁塔聖教序 顔真卿　顔氏家廟碑 牛橛造像記 鄭道昭　鄭羲下碑 ・古典独自の特徴を理解して書く	a:古典の特徴と表現効果との関わり、書体や書風と用筆・運筆との関わりについて、理解している。（知） a:書の伝統に基づき、作品を効果的・創造的に表現するために、必要な技術を身に付けている。(技) b:古典のよさや美しさを感受し、意図に基づいて、構想し、古典の特徴や書風に即した、用筆、運筆、字形などを工夫している。 c:書のよさや美しさを感受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	ワークシート 提出作品	ポートフォリオ 提出作品 鑑賞プリント	観察 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

2	漢字仮名交じりの書	・漢字仮名交じり書の意味を理解する ・漢字に調和する平仮名を考える ・線質や構成を理解して、漢字仮名交じりの書を創作する	a:用筆・用材の特徴と表現効果とのかかわり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて、理解している。（知） a:目的や用途に即した効果的な表現、漢字と仮名の調和した線質による表現の技術を身に付けている。（技） b:漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を活かした表現や現代に生きる表現について構想し、工夫している。 c:書のよさや美しさを感受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	ワークシート 提出作品	創作プリント ポートフォリオ 提出作品	観察 振り返りシート
	篆刻	・姓名印の制作 ・漢字仮名交じりの書の作品に押印、表具	a:作品における落款の役割と効果を理解できている。（知） a:篆刻の制作方法を理解し、落款印を彫ることができる。（技） b:姓名印制作に必要な篆書を調べ、線同士の間隔や太さを意識し、文字の配置を工夫している。 c:主体的に姓名印の制作活動に取り組もうとしている。	ワークシート 提出作品	制作プリント ポートフォリオ 提出作品	観察 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

3	仮名の書	・細字用小筆の運筆方法を理解する ・高野切第三種の臨書を通して、変体仮名や連綿線について知る ・変体仮名と連綿線を用いて、創作作品を書く	a:用具・用材の違いによる表現効果ついて理解している。（知） a:仮名の変遷や変体仮名ついて理解している。（知） a:書の伝統に基づき、作品を効果的・創造的に表現するために、必要な技術を身に付けている。(技) b:古筆のよさや美しさを感受し、意図に基づいて、構想し、古筆の特徴や書風に即した、用筆、運筆、字形などを工夫している。 c:書のよさや美しさを感受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い学習活動に主体的に取り組もうとしている。	ワークシート 小テスト 提出作品	ポートフォリオ 提出作品 鑑賞プリント	観察 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度